

窪高生徒会新聞

第41号

二〇一七年（平成二十九）年六月二十三日
 発行 窪川高校生徒会
 校長 森本 民之助



生徒会新聞は窪高の
 ホームページでも
 ご覧になれます。

充実した高校生活のために

生徒会執行部の取組

生徒会長 2年1H 足達 和葉

1学期中間試験も終わり、新しく29年度前期生徒会のメンバーが決まりました。私自身高校での生徒会活動は初めてで、緊張や不安が少しあります。しかし、これまでの生徒会の人たちが作り上げて来てくれたものを元に、学校の全員がよりよい生活を送れるように努力していきたいと思えます。

現在は、挨拶運動やホームマツチに向けて取り組んでいます。挨拶運動は、これまでの生徒会でとても大切にされてきたもので私達もそれを受け継ぎ、生徒や地域の方との関わりを大事にしていきたいです。

また、私たちは「皆の仲が良く、笑顔の絶えない高校生活」を目指しています。勉強にも励みながら、友人や先生との楽しい高校生活を送れるように、まず、私達も一生懸命頑張ります。そのためにまず、最初の

行事であるホームマツチを成功させるために生徒会一同、力を尽くしますので、これからの協力をよろしくお願ひします。

窪川高校に入学して

充実した学校生活を送りたい

1年1H 森田 桃花

私は窪川高校に入学してから、日々、充実した学校生活を送っています。それには、理由が3つあります。1つ目は、授業が分かりやすく、楽しいところです。先生がわかりやすく教えてくれるので、頭に入りやすいし、フレンドリーな先生が多いので、授業の雰囲気もすごくいいです。2つ目は、新しい友達がたくさんできたことです。先輩方も優しく接してくださるのでこの高校でよかったと思えました。3つ目は、生徒会に入ったことです。一度やってみたいと思っていたので入れてよかったし、これから行事やボランティア活動など自分がまだ経験したことがないことにもチャレンジしていきたいです。勉強や学校活動、何事にも

精一杯取り組んでいきたいです。

四月二十八日（金）遠足

《砂像》2・2の絆

2年2H 植田 透羽

私たちは4月の下旬に興津へ遠足に行きました。避難訓練、砂像づくりやビーチフラッグのイベントが行われました。

砂像づくりでは、私たちのクラスは「2・2の絆」という題名で女体をつくりました。クラス的人数が少なく苦戦した場面もありましたが、先生たちも手伝ってくれたり、アドバイスをしてくれたりしたので、今までにみんなが見たことのない新しい砂像をつくることができました。

そして、審査員特別賞を頂きました。クラスで一生懸命、協力してつくったので頂いたときにはうれしかったです。砂像づくりを通して、クラスの絆をより深めることができた遠足でした。来年は優勝を目指して頑張りたいです。



遠足（興津の浜）

ペットボトルキャップ&プルタブ回収

《生徒会活動》

生徒会広報委員長 山本 怜依

前年度のペットボトルキャップの回収結果は180kg プルタブは80kgでした。本年度も生徒総会で決議された議案第2号に取り組みしていきます。すでにキャップは四万十町役場から協力をいただき、4kg集まっています。

今後、各ホームの設置BOXを定期的に回収しますのでご協力をお願いします。

たたかいを終えて
高知県高等学校体育大会感想

卓球部

県体を終えて

3年1H 高橋 芽斗

私は、5月20、21と県大会に出場しました。私は21日の個人戦のみの出場でした。私はこの3年間で一度も公式戦で一回戦を突破したことがありませんでした。個人戦の前日は緊張と不安であり眠ることができませんでした。そして緊張と不安を抱えたまま最後の個人戦に挑みました。相手は室戸の選手でした。結果は、3対2で公式戦初勝利をすることができました。とてもうれしかったです。この勝利は卓球部全体でつかんだ勝利だと思っています。先輩や先生の指導や後輩の応援があつてこそその勝利だと思えました。

高校で卓球部に入つてとてもよかつたなと思えました。



卓球部

バスケットボール部 男女



上) 男子 下) 女子

最後の思い出

3年1H 大倉 剛喜

僕たちバスケット部は部員が6人ながらも県大会に出場しました。

結果は残念ながらも、1回戦敗退という結果に終わりましたが、自分たちの持つていたすべての力を出し切ることができたという思いともう少し何かできたのではないかという思いがあります。県体が終わり改めて考えると、充実した3年間だったと思います。少ない部員数でしたが楽しいことも悪いことも含めとてもいい思い出です。そしてこれからは新生バスケット部の出発をあたたい応援で見守つてあげてください。

戦い抜いた県体

3年2H 敷地 那奈美

私たち女子バスケット部は、5月20、21日に出場しました。1回戦目、山田高校との試合は第3Qの途中まで点差

がほとんどなく厳しい接戦でした。しかし、チーム全員が最後まで気持ちを切らさずに戦うことができ、最後は点差をつけて勝利することができました。2回戦目、高知南高校との試合では前日のケガのせいでした。しっかり動くことができて、仲間の4人に大きな負担をかけてしまいました。けれど、相手のチームの強さに圧倒されながらも、大きな点差がついても力をゆるめることなく戦ってくれ、感謝しています。

今回の県体で一勝できたのは、男女バスケット部をはじめ、先生や先輩方、家族や友達の支えのおかげです。本当にありがとうございました。

陸上競技部

走り抜けた県体

3年2H 橋本 理央

5月20日から22日の3日間で県体が開催され、私たち陸上競技部も出場しました。初日には全校の応援があり複数の人が見に来てくれ心強かったです。私は、2日目と3日目の100mと200mに出場しました。最後の大会となるので、自己ベストを更新し引退することが目標でした。たくさんの方が応援をしてくれたおかげで200mは自己ベストを出すことができ、とてもうれしかったです。これまで部活動では多くの人にお世話になりました。練習がしんどいと感じることもありましたが続けてきて良かったです。ありがとうございました。

ソフトテニス部

再開から一年、初陣の県体

2年1H 川上 悠希

5月20日、昨年度より活動を再開した僕たちソフトテニス部は、新入部員を一名加え初陣となる県総体に出場しました。結果は残念ながら男女共に一回戦敗退となつてしまいました。高校初の公式試合が県総体という大きな舞台だったため得ることも多くありました。試合での反省はもちろん個人の課題発見やコンビネーションの強化など見つめ直す点も多く見つけ、また、強豪校の戦い方や動き方などもとても勉強になりました。これからのことを踏まえ、今後の練習に役立てながら次の大会を意識していきたいと思えます。これからも、より一層練習に励み、試合でも多く勝てるよう頑張っていきたいと思っています。



陸上競技部



ソフトテニス部